

## ◎ 大学関係

## 1. 総長選挙

総長選考が下記の選考日程に沿って進行中ですが、選考過程が不透明と学内が混乱しているようです。

- (1) 7月 7日(火) 第1次総長候補者の推薦(代議員会) 済  
7月22日(水) 第1次総長候補者の推薦(経営協議会) 済

9月 7日(月) 第2次総長候補者の選定(総長選考会議) 3名に絞られる

9月 30日(水) 第2次総長候補者への意向投票

新聞報道によると、2次候補者3名に対する9月30日意向投票の結果は以下です。

- ① 951票：藤井輝夫理事・副学長(財務・社会連携・産学官協創担当)
- ② 635票～東大工 学系研究科・工学部長の染谷隆夫教授
- ③ 232票 自治医科大学学長の永井良三名誉教授(東大医学部付属病院元病院長)
- ④ 251票 白紙

10月 2日(金) 総長予定者の決定(総長選考会議)

(2) 東京大学新聞9月29日号にて、① 総合文化田中教授ら6人の東大教員からなるグループが23日午前、総長選考会議の小宮山宏議長(第28代総長)に提出した「選考の透明性と公平性」を問う質問状と、小宮山議長の回答を特設サイトで公開したと一面で報じている。また、同紙は、大和裕幸名誉教授元東大理事有志が、9月25日、総長選考会議小宮山宏議長に文章にて、30日予定の全学投票の延期、選考過程の調査検証と学内外への説明を経た選考の再開を要望したとのこと、また、9月25日、法学部・文学部・医学部・薬学部の学部長と、学内の10の研究機関の所長・センター長、医学部付属病院長の計15人の連名で、総長選考過程に関する説明を求める要望書を提出したとも報じている。

## 2. 五月祭は9月に開催、駒場祭は11月に！

(1) 第93回五月祭は、9月20日(日)、21日(火)にオンラインで開催されました。

具体的には、ホームページにアクセスして、企画一覧・検索から、カテゴリー(学術 スポーツ・武道 カルチャー パフォーマンス 音楽)から選択、次に実施形態(ライブ配信 非ライブ配信)から選択します。

「ライブ配信」では、講演会 相談会・交流会 演奏会 パフォーマンス 展示・実演 体験型などがあり、「非ライブ配信」では、講演会(録画) 演奏会(録画) パフォーマンス(録画) 展示 通信販売などがあります。

(2) オープンキャンパスもオンラインで9月21日(火)、9月22日(水)に開催されました。特色は、バーチャルSNSを活用した自らのアバターで東大の建物の中や周辺を散策できる「バーチャル東大」や仮想空間の東大講堂で行う講演会(講師の生産技研の藤井輝夫教授や先端科学技研の稲見昌彦教授がアバターで登場した)など、リアル以上の参加者があったとのことである。

(3) 第71回駒場祭は、11月21日(土)から11月23日(月・祝日)にオンラインで開催されます。

駒場祭委員会松田奈那さんより協賛広告の協力要請が来ておりますので、別途、メールにてご案内します。

## 3. 第19回ホームカミングデイ ～ オンライン開催

## (1) 連合会企画「東京大学全学同窓会物語2020」

・ 連合会企画は、前半は同窓会に関心のある若手卒業生に東大の全学同窓会の歴史と現状についての話、後半は地域同窓会の皆様から頂いた写真・ビデオなどのスライドショー、合計40分ほど動画を制作中です。全学同窓会ビジョンや目的など堅い内容ですので、神奈川銀杏会三土会で落語を口演した参遊亭遊助さん(本名豆生田信一・81経)の協力を得て、皆さんが途中退場しないように、ユーモアを交え、柔らかく話して頂いた。ホームカミングデイ当日から1週間ほど公開し、その後は、連合会ホームページで公開いたします。

・ 神奈川銀杏会企画は遊助さんの落語で横浜道物語と神奈川銀杏会物語(神奈川銀杏会三土会報告参照)。

・ 鎌倉淡青会企画は街道を歩く会などの活動紹介。

## (2) 第19回特別フォーラムのテーマ・登壇者が決定

- テーマ:『新型コロナウイルスと人類 ～想定外にいかに向き合うか』
- 日時:2020年10月17日(土) 10:40～12:30
- ライブ配信/要参加申込(どなたでもご参加いただけます)
- 講演者
- ① 河岡 義裕氏

#### 東京大学医科学研究所感染症国際研究センター長

1978年北海道大学獣医学部卒業、80年同大学修士課程修了、83年獣医学博士取得。St. Jude Children's Research Hospital, Tennesseeにて教授研究員、ウイスコンシン大学獣医学部教授の後、東京大学医科学研究所細菌感染研究部教授、感染・免疫部門ウイルス感染研究分野教授を経て現職。

#### ② 小野塚 知二氏

東京大学経済学研究科教授、東京大学アジア研究図書館長

1981年東京大学経済学部卒業、87年同大学院経済学研究科第II種博士課程単位取得退学。東京大学社会科学研究所助手、横浜市立大学商学部助教授を経て現職。専門は近現代西洋社会経済史、イギリス労務管理史・労使関係史、第一次世界大戦史、兵器産業史など。

#### ③ 玄田 有史氏

東京大学社会科学研究所教授

1988年東京大学経済学部卒業、92年同大学院経済学研究科第II種博士課程退学。学習院大学経済学部教授を経て現職。専門は労働経済学。著書に「希望学」(共著)、「希望のつくり方」(共著)、「危機対応の社会科学」(共著)、「地域の危機・釜石の対応」(共著)ほか。

### 6. 東京六大学野球秋季戦

東京六大学秋季リーグ戦は9月19日、東京・神宮球場で開幕した。東大は法大と開幕カードを戦い、連敗した。一回戦は、法政が(連覇を狙い)最速152キロの左腕・鈴木昭汰投手(4年)を先発させ、東大打線を7回2/3を3安打2失点に抑え、東大は井澤駿介投手が粘投したが、4-2で惜敗した。二回戦は10-1で連敗となった。今回から、一塁側チームの応援団は右中間席に、三塁側チームの応援団は左中間席に応援団の場所が設けられ、エールや演奏ができる環境ができた。

### ◎ 連合会関係

#### 1. 連合会総会(9月23日):

(1) 連合会総会は、9月23日(水)16時より17:30まで、同日、18時から東京銀杏会総会が開催される第一ホテル新橋にて開催された。出席者は、関西東大会北会長、東京銀杏会岩村代表幹事、神奈川銀杏会豊吉会長他8名、計11名が参加された。

(2) 総会開催に先立ち、書面での議決をお願いしており、その結果では、回答のあった会は20、議決数で3,587票にて52.9%、7月の書面での幹事会で賛成頂いた会7、議決数868票、12.8%と過半数が賛成、その他は議長一任の状況だったが、校友会との大同団結を議決する総会として、感染防止しながらリアル開催した。

#### (3) 総会議事

① 全ての議案は、本年7月に書面で行われた2020年度第1回幹事会でご承認頂いた総会議案通りにて、満場一致で議決された。

② 第7号議案にては、本年3月17日付の答申書方針が承認された。その第一歩として、本日付けにて、当会の名称は「東京大学地域同窓会連合会」と改称される。また、本日付けにて、校友会に「東京大学校友会地域同窓会本部」が発足し(その業務目的については、配布資料を参照下さい)、その業務を担当するため、連合会の長崎事務局長が本部長として就任予定。

③ 第4号議案予算と第5号議案年会費に関連し、一部会員から要望がある年会費の見直しが種々の観点より議論された。結論としては、本年度年会費は第5号議案通りとするも、速やかに年会費見直しの為の幹事会を発足させ、来年総会(5月予定)までに案を出すことになった。

④ 地域同窓会である鎌倉淡青会は、現在は特別会員だが、正会員への昇格が議論されたが、年会費の見直しとも関連、また、複数の同窓会のある県の扱いにも関連するため、正会員・特別会員制度の見直しを行ってから対応することになった。

#### 2. 10月16日全国大会までにはZOOM装備で全国から出席:

10月16日(金)学士会館にて開催予定の連合会全国大会(第11回)につき、オンラインとリアル併用にて開催いたします。ご出欠を10月8日までご連絡頂くようお願いいたします。

#### (1) 前置

当初は、コロナ感染が終息しない状況下、地方会員も多い連合会としてはオンラインのみでの開催を考えておりましたが、9月23日にリアルで開催された東京銀杏会総会で、久々に一緒に談話したと喜ぶ参加者を見るにつけてリアルの良さを実感しました。また、連合会にとっては、本全国大会は、明日の10月1日を以って、校友会との大同団結の第一歩として、連合会名称を「東京大学地域同窓会連合会」と変更し、校友会に新たに設立される「校友会地域同窓会本部」業務を連合会事務局が兼務する形での両

者の協働体制が始まる記念すべき会であり、例え少人数でもリアル開催も併用すべきと考え直しました。大学役員等の参加ガードは固いのですが、幸いにも皆様がしばらくご尊顔を拝していない有馬会長はコロナ禍にあっても会食等に出ておられ、よろこんで参加されると背中を押して頂いております。

(2) 開催要領 リアルとオンライン(ZOOM)併用の開催いたします。

① 日時:2020年10月16日(金)18:00より(オンライン参加は18:00より)

② 18:00~18:30 会食 18:30~20:00 式典(有馬会長、岡崎代表幹事、その他リアル・ZOOM出席者挨拶、創作落語の紹介等の余興) 記念写真

③ 場所: 学士会館320号(風格ある毎年の会場です)感染防止対策として、入り口での体温測定、座席は最大20名で制限、ソーシャルディスタンスを確保、隣席と透明パーション、食事は和食弁当、アルコールは乾杯+程度。

④ 会費:6千円(食事・飲み物含む、会場費は本部負担)

(3) 参加申込:

① リアル参加: 10月8日までに各事務局にて出席者をまとめ、メールにてご連絡ください。記念すべき全国大会であり、各会の会長・役員のご参加をお願いします。特に創設メンバーの東京・関西・東海・神奈川・千葉・埼玉は会長含めて役員のご出席をお願いいたします。会で複数の参加も可ですが、20名を超える場合はご協力をお願いいたします。

② ZOOM参加: できれば全ての会からどなたかご参加頂くようお願いいたします。役員・幹事、その他ZOOMを日ごろからお使いの皆様に声をかけ、各事務局にて参加者をまとめ、できれば10月8日までに、メールにてメールアドレスと共にご連絡ください。事前に参加申込者に事務局よりZOOM接続のご案内をお送りします(連合会で有料サービスを契約いたします)。

2週間後の全国大会の案内にて、大変無理なお願いですが、正に万障お繰り合わせの上、ご参加賜るようお願いいたします。

### 3. コロナ禍長期化での同窓会活動の促進~オンラインの活用

・ 新型コロナウイルスとの闘いは活動しながら戦い続ける長期戦です。同窓会の基本活動は対面の集まり・交流・親睦と正に三密環境の活動ですので、無策のまま自粛を続けずに、万全の感染防止対策を講じながら、できるだけ同窓会活動を継続する工夫が重要と考えます。既にご報告したように、神奈川銀杏会や鎌倉淡青会に加え、東京銀杏会、石川赤門会など、オンライン化も推進し、新たな活性化の種になりつつあります。

### 4. 東京銀杏会総会・懇親会開催

東京銀杏会は5月から延期されておりました総会・懇親会を9月23日(水)18時より第一ホテル新橋で開催しました。コロナ感染防止に万全を講じて、人数を50人に絞った決断でしたが、東京銀杏会会員が50名、大学から総長選挙の渦中にある藤井理事や津田副学長含め4名、地域同窓会から5名が参加した大盛況でした。

懇親会では来年5月に安田講堂での真打興行を計画している春風亭昇吉さんが新作落語を口演されました。

食事は、コロナ感染防止のため、バイキング方式でなく、テーブルでフランス料理のフルコースでしたが、アルコールもありで、喜ばれました。嶋津昭会長代理が、「今晚、おいでの方はご家族の反対を押し切ってこられたと」と事務局の決断を「蛮勇」と表現しながらも乾杯のご挨拶をされましたが、皆様は久々の集まりを満喫されたようです。







## 5. 一般社団法人・東大ウォリアーズクラブ代表理事・好本一郎氏「東大アメリカンフットボール部ウォリアーズの軌跡 -新時代の大学スポーツを目指して-」出版の案内

神奈川県三土会では、一般社団法人・東大ウォリアーズクラブ代表理事・好本一郎様(53法;神奈川県川崎市ご出身)を講師にお招きし、「大学スポーツの新時代を目指して — 東大アメリカンフットボール部の試み—」というテーマで講演をいただきましたが、好本講師がブログ(東大アメリカンフットボール部・ウォリアーズの軌跡 <https://tokyowarriors.hatenablog.com/>)を通じ発信したメッセージにさらに何章かを書き加え、10月初旬に「東大アメリカンフットボール部ウォリアーズの軌跡 -新時代の大学スポーツを目指して-」を出版されます。

一部リーグで活躍するウォリアーズに育つまでのヘッドコーチの森清之氏が学生を指導、教育する姿勢やその一貫した哲学、ガバナンスの為の社団法人化など、企業活性化と運動部強化のための道筋、特にリーダーシップのあり方など大変参考になる本ですので、ぜひ手にとってお読みください。

当書籍の販促のためのチラシを下記のURLに掲載しましたのでどうぞご覧ください。定価は¥2,750(消費税込)ですが、東大ウォリアーズのHP(<https://shopping.tokyowarriors.com/>)を通してお申込みいただければ¥2,000(消費税、送料込)でお求めいただけます。詳しくはチラシをご覧ください。

チラシURL

表面 <https://drive.google.com/file/d/1Kkh8JL8HfKgOj8TF0dmH8xQ8LHsszvIu/view?usp=sharing>

裏面 [https://drive.google.com/file/d/1qqxrxizmKrb\\_NAMTFLpPSQx2UUe2VR0/view?usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/1qqxrxizmKrb_NAMTFLpPSQx2UUe2VR0/view?usp=sharing)

## ◎ 校友会関連

### 校友会との大同団結の第一歩が実現:

2020年10月1日付にて、① 連合会名称を「東京大学地域同窓会連合会」に変更、② 校友会が新設する「地域同窓会本部」を連合会事務局が兼務します～本部長を連合会事務局長が兼務。

(1) 地域同窓会本部の目的は、「国内の地域単位の同窓会活動を支援する」ことで、具体的内容は、校友会・大学関係部門と協議するが、事務局としては、下記を重点に地域同窓会発展を図りたいと考えております。

#### ① 広報手段の強化:

TFT、校友会ニュース、更には地域連合会ニュースの学内配布拡大を通じての広報を強化する。

#### ② 年次による同窓会推進:

東大には組織的な年次同窓会は未だ無い。地域同窓会本部として、学部・院同窓会、運動部・サークル団体、五月祭・駒場祭委員会と協議して、その学年の年次ネットワークの育成・発展を図る。出来れば、直近の2021年卒の核となる幹事の幹事群指名まで進める。

#### ③ 在京県人会拡大構想:

コロナという異常事態では地方出身学生のストレスは大きい。鳥取、徳島、山口の各県出身学生・教職員による新入生歓迎会、就活支援などの活動を行う県人会的組織を他の県にも拡大する呼びかけを行う。地域の絆による暖かい交流・親睦のネットワークは、ストレスの多い地方出身学生(特に女子学生)のセーフティネットとして、大学の重要なインフラとなる。

#### ④ 地域支部構想:

日本国内・海外における東大同窓会の発展は、大学自体の発展に繋がる。日本全国で自主的に立ち上がり、東

大の旗を掲げ、地域における東大卒業生の交流・親睦、そして支援に努めて来た地域同窓会は、東京大学の地域連携拠点の役割をも果たす可能性を持つ。大学とのより緊密な連携を推進したい。

